

環境講演会『宮島のサル問題を考える集い』を聴いて

2025.2.22 作成 森

2月18日にetto宮島交流館で首記題名の講演会が開催されたので、興味本位で参加してきました。サルによる農作物等への被害対策は、なかなか厄介なことがわかりました。わかったような気になった部分の一部を紹介します。

開催日時：2月18日（火）18時～19時

開催場所：etto宮島交流館（参加者15～20名程度 ほとんど宮島の住人だと思われる）

演題/講師：「宮島のサル問題を考える集い」

壇上 理沙氏（株式会社 野生生物保護管理事務所 広島事業所 研究員）

I. 講演内容の一部紹介（資料とパワーポイントを使って説明がありました）

1. サルの生態と行動

- ①目が良い（2km先のものが見える） ②どこでも住める ③グルメで手先が器用
- ④記憶力が良い（知能は幼稚園児程度） ⑤登るのが得意 ⑥2mを飛べる
- ⑦群れる（母系集団）昼活動 ⑧一度なれると大胆

群れごとに独自の行動圏を持つ（1群 5km²～50km²）

群れごとに頭数・加害性が違い、個性がある。（レベル0 ～ レベル5に分類）

レベル0：山奥に生息し、被害なし レベル5：通年、頻繁に耕作地等に出没し、被害大

2. 市街地・田畑に寄せ付けない対策4つ（捕獲のみではサルの被害はゼロにならない）

環境整備

- ① 誘因物をなくす：取り残しのカキ・クリ・柑橘などをなくす。収穫しない果樹は伐採、低く剪定
- ② 藪をなくす
- ③ 柵の設置：電気柵が最も有効
- ④ サル追い払い：音追いピストル、爆竹の使用が有効
 - a.誰かを誘って2名以上で追い払う b.複数の道具で追い払う c.音追いピストルはサルに向けて撃つ d.爆竹は足元で10発以上撃つ e.山に入れる場所は一步でも山に入る f.季節を問わず追い払う g.どこでも誰もが追い払う h.繰り返し追い払う

3. 遭遇した場合の対応方法

- ①迷わず追い払う（ものを投げる、棒を振り回す、大声を出す）：放っておくと人に慣れてしまう
- ②果敢に立ち向かい、追い払う（複数人）
- ③目をそらして静かに後ずさりする（走るはダメ）

4. サル出没情報の協力依頼

サルを目撃したら宮島ロープウェイまでお電話ください

0529-44-0316

森の感想

質疑応答では、多々良と大砂利の被害で宮島ロープウェイの人にきちんと対策してもらいたいと苦情あり。サルの群れや頭数の把握は十分でなく、増え続けているようだとの事で、すぐに効果の出る対策は難しそうで、厄介な問題であると感じた。

以上